

神の栄光で満たされた神の宮

聖書：出 24:16. 40:34-35. 列王上 8:10-11. 使徒 7:2, 55.

ヨハネ 17:22. エペソ 3:21. 啓 5:13. 21:9-11

I. 栄光は神の属性です。栄光は、神の表現、すなわち、輝きの中で表現された神です——出 24:16. 使徒 7:55。

II. 神の栄光が、幕屋と宮を満たしました——出 40:34-35. 列王上 8:10-11：

A. 「雲は集会の天幕を覆い、エホバの栄光が幕屋を満たした」——出 40:34：

1. 幕屋が建て上げられ、雲が下って来てそれを覆い、神の栄光が入って来てそれを満たした日は、大いなる日でした——出 40:2, 34-35：

a. 集会の天幕の周りに集まった人たちは、雲を見ることができました。しかし、幕屋の至聖所の中へと最終的に入った大祭司は、幕屋の内なる栄光を見ることができませんでした——レビ 16:15. ヘブル 9:7。

b. これが示していることは、わたしたちの召会生活の経験において、わたしたちは前進して、幕屋（神の具体化としてのキリスト）の中へと入って、食卓でパンを享受し、香壇でとりなす必要があるということです。それはわたしたちが、神の住まいにおける栄光を経験するためです——出 40:34-35. ヨハネ 1:14。

2. 雲で覆われ、栄光で満たされた幕屋は、イスラエルの子たちにとって大いなる祝福でした。しかし、今日わたしたちが持っているのは、彼らが型においてのみ持っていたものの実際です——ヨハネ 14:2-3, 6, 10-11, 16-18, 20, 26. エペソ 2:18-22. 3:16-21。

B. 「エホバの栄光がエホバの家を満たした」——列王上 8:11：

1. 宮、すなわち、地上における神の団体的な表現と住まいは、神の栄光で満たされました——10-11 節。

2. エホバの栄光がエホバの宮を満たし、天におられる神を地へともたらし、地を天に結合させました——11 節。

3. 創世記第 28 章でヤコブが見た夢は、「一つのはしごが地上に立っており、その頂は天に達していた」（12 節）ことでした。そして、彼が言った事は、これは「まさしく神の家である。これは天の門だ」（17 節）でした：

a. そこにおいて、そのはしごによって、天は地へと下り、地は天に結合させられました。

b. このはしごは、キリストの予表です。彼は、人の子として、彼の人性を持っており、地上に立てられたはしごであって、天へと導き、天を地に対して開き続け、地を天に結合します。それは神の家、ベテルのためです——ヨハネ 1:51. 創 28:19。

c. 今日、わたしたちの中に住んでいるキリストによって、天の神は地へと下り、地は神に結合されます——コロサイ 1:27。

d. 神が天から下って来ただけではなく、彼のシェキナの栄光が宮を満たしました

——列王上 8:10-11。

Ⅲ. 三一の神は栄光の神です——使徒 7:2, 55 :

A. 神は栄光の神です——使徒 7:2, 55 :

1. いつであれ神が表現されるとき、それは栄光です。見えない神は神です。見える神は栄光です——出 13:21。
2. 栄光の神はアブラハムに現れ、彼を召し、彼をこの世から神へと分離しました。アブラハムはその栄光によって引き付けられ、捕らえられました——使徒 7:2。

B. エペソ第 1 章 17 節で、パウロは「栄光の御父」という用語を用いています :

1. 栄光の御父は、彼の多くの子たちを通して表現された神です——ヘブル 2:10。
2. 「御父」という称号は、再生を暗示しています。「栄光」という言葉は、表現を暗示しています。ですから、「栄光の御父」という称号は、再生と表現を暗示しています。

C. 子なるキリストと父なる神は、栄光の中で同じです——ヨハネ 17:5 :

1. 子なるキリストは、神の栄光の輝きです。御子は、御父の栄光の輝き、明るさです——ヘブル 1:3 前半。
2. キリストは、栄光の王、万軍（すなわち、軍隊）のエホバであり、勝利を得た来たるべきキリストにおいて具体化された、究極的に完成された三一の神です——詩 24:7-10. ルカ 21:27. マタイ 25:31。
3. キリストは、栄光の主です—— I コリント 2:7-8 :
 - a. キリストは、今日はわたしたちの命であり、将来はわたしたちの栄光です——コロサイ 3:4. 1:27。
 - b. この栄光へと、神はわたしたちを召しました。そして、この栄光の中へと、神はわたしたちをもたらしめます—— I ペテロ 5:10. ヘブル 2:10。

D. I ペテロ第 4 章 14 節は、「栄光の霊、すなわち神の霊」について語っています :

1. 栄光の霊は、神の霊です。
2. 栄光の霊は次のような方です。すなわちこの方を通して、復活の中でキリストの栄光が現されました——ローマ 1:4。
3. この栄光の霊は、迫害の中で苦難を受けている信者たちの上にとどまっています。それは、今や栄光の中にある、復活して高く上げられたキリストの栄光を現すためです—— I ペテロ 4:13-14。

Ⅳ. 神の栄光は、神のエコノミーと内在的な関係があります—— I テモテ 1:4. エペソ 1:10 :

- A. 神の永遠の目標は、彼の多くの子たちを栄光の中へともたらしめて、永遠の団体的な表現（新エルサレム）を得ることです——ヘブル 2:10. I コリント 2:7. エペソ 1:5-6, 12, 14. 啓 21:7, 9-11。
- B. 神があらかじめ定めたことは、わたしたちが彼の栄光を得て、彼を表現するということです。こういうわけで、神があらかじめ定めたことの目標は、わたしたちの栄光化です—— I コリント 2:7。

- C. 神はわたしたちを、彼のかたちに造り、栄光へと用意された尊い器としました。わたしたちが彼の主権の中であらかじめ定められたことは、彼の尊い器となって、栄光の中で彼が何であるかを表現するということです——創 1:26. ローマ 9:21, 23。
- D. キリストの贖いは、神の栄光の要求を満たしました——ローマ 3:23-25. ヘブル 9:5. 参照、創 3:24。
- E. 神の栄光の福音を通して、神はわたしたちを彼の永遠の栄光によって、彼の永遠の栄光の中へと召しました——Ⅱコリント 4:4. I テモテ 1:11. I テサロニケ 2:12. I ペテロ 5:10. Ⅱペテロ 1:3。
- F. すべてを含むキリストは、栄光の望みとしてわたしたちの中に住んでいます——コロサイ 1:27. 3:4, 11。
- G. わたしたちは主の栄光を見つめ、そして反映するとき、栄光から栄光へ、主のかたちへと徐々に造り変えられていきます——Ⅱコリント 3:18。
- H. 父なる神は、あらゆる恵みの神としてわたしたちの中で動いています。それはわたしたちが彼の永遠の栄光にあずかり、神の栄光とさえなるためです——I ペテロ 5:10。
- I. 神のエコノミーにおける神の栄光は、神聖な啓示の高嶺と関係があります。この高嶺とは、神が人と成ったのは、人が神格においてではなく、命、性質、機能において神となるためであるということです——ヨハネ 1:14. ローマ 8:3. 1:3-4. コロサイ 3:4. ヘブル 2:10. 啓 21:10-11。
- V. ヨハネ第 17 章 22 節で主イエスは祈りました、「あなたがわたしに与えてくださった栄光を、わたしは彼らに与えました。それは、わたしたちが一であるように、彼らも一となるためです」:**
- A. 主は、御父の御名の中にある、永遠の命による一（ヨハネ 17:6-13）と、聖なる言による聖別を通しての一（14-21 節）という二つの段階の一のために祈った後、第三段階の一のために祈りました。この第三段階の一は、信者たちの一が神聖な栄光の中であって、三一の神を団体的に表現するためであるということに関するものです（22-24 節）。
- B. 御父が御子に与えた栄光は、御子によってわたしたちに与えられたので、真の一はこの神聖な栄光の中にあります——ヨハネ 17:22 :
1. 栄光は、御父によって御子に与えられた子たる身分です。この子たる身分は、御父の神聖な命と性質を持っており、御父の豊満の中で御父を表現します—— 1, 5, 22 節。
 2. 栄光には四つの面があります。それは、子たる身分、御父の命、御父の神聖な性質、御父の豊満の中の御父の表現です。これら四つのものは、わたしたちが御子の中で持っている栄光、御子によってわたしたちに与えられている栄光と等しいです——エペソ 1:5. 4:18. I ヨハネ 5:12. Ⅱペテロ 1:4. 啓 21:9-11。
- C. 第三段階の一において、信者たちは、彼らの自己が完全に否まれ、彼らの成就された一の要因である御父の栄光を享受し、こうして団体的で建造された方法で神を表現し

ます——ヨハネ 17:22 :

1. 第三段階の一においてのみ、わたしたちは完全に成就されて一となって、主を現し、主の栄光を現します。
2. わたしたちが神の命、神の性質、さらには神ご自身を持つのは、神の現れと表現になるという目的のためです——22 節。

VI. エペソ第3章21節でパウロは宣言しています、「神に、召会の中で、またキリスト・イエスの中で、栄光がすべての世代に至るまで、永遠にわたってありますように。アーメン」:

- A. わたしたちは神の栄光の豊富にしたがい、内なる人の中へと増強されつつあります。これは、神の栄光が聖徒たちの中へと造り込まれることができることを暗示します——エペソ 3:16. II コリント 3:18。
- B. エペソ第3章21節の「神に……栄光が……ありますように」は、聖徒たちの中へと造り込まれた神の栄光が、神に戻っていくことを暗示します。
- C. この栄光は、神と共にわたしたちに来て、わたしたちの中へと造り込まれた後、わたしたちと共に神に戻っていきます。これが、召会の中で神の栄光が現される道です——エペソ 3:16-21。
- D. この往来によって、召会は宇宙における初穂として（ヤコブ 1:18）、神に栄光を帰すことで率先します：
 1. 神の栄光は召会の中へと造り込まれ、神は召会の中で表現されます——エペソ 1:22-23. 2:21-22. 3:16-17, 19 後半。
 2. 召会の中で、神に栄光があります。すなわち、召会の中で、神の栄光が現されます——21 節。
 3. 神の栄光が現されるのは、この時代、すなわち召会時代においてだけでなく、来たるべき時代、すなわち王国時代においてでもあり、またもろもろの時代、すなわち永遠においてでもあります——マタイ 6:13, 29. ローマ 16:27. 啓 5:13. 21:10-11。
 4. 神の栄光が、現在の時代から永遠に至るまで、すべての時代において現されるために、神の栄光は召会の中で、またキリストの中で現されなければなりません——エペソ 3:21。

VII. 新エルサレムの際立った特徴は、この都が神の栄光、すなわち神の表現を持っているということです——啓 21:11, 23 :

- A. 新エルサレムは、永遠における神の団体的な表現であり、神の現れを帯びており、神の栄光の中にある神のかたちを表現します——啓 21:10-11. 4:3。
- B. 新エルサレムの都全体は、神の栄光を帯びています。この栄光は、都を通して輝き出る神ご自身です——啓 21:11 前半：
 1. 神の栄光が、新エルサレムの内容です。なぜなら、この都は完全に神の栄光で満たされているからです。これが示していることは、新エルサレムが器であって、神を内容とし、神を表現するということです。

2. 神の栄光とは、実は神ご自身が現されることです。こういうわけで、聖なる都が神の栄光で満ち満ちているということは、神がこの都において現されることを意味しています。
- C. 神の栄光、すなわち表現された神は、新エルサレムを照らし、碧玉の城壁を通して輝き出ます——啓 21:23, 18 前半：
1. 新エルサレムの光は、碧玉のようであり、水晶のように透明です—— 11 節後半。
 2. 神の栄光は、ともし火としての小羊なるキリストの中で、聖なる都の城壁を通して輝き出ます—— 23 節, 18 節前半。
- D. 神は新エルサレムです。神の栄光を現すことは、神を新エルサレムとすることであり、神にすべての栄光を帰すことです——啓 21:22. ローマ 15:5-7：
1. 神の栄光を現すことは、新エルサレムにあずかることです——啓 3:12. 21:11。
 2. わたしたちが新エルサレムにおいて神を表現するときはじめに、宇宙において真に神の栄光が現されます——ローマ 16:27. I コリント 10:31。
- E. 新エルサレムとして、わたしたちは神の栄光の賛美となります——エペソ 1:12：
1. 永遠において、神のすべての子たちは、完全に神で浸透されて、神を表現します——ヘブル 2:10。
 2. 神は、神の栄光化された子たちを通して表現されます。この表現された神が栄光です——啓 21:7。
 3. 宇宙の中のすべての御使いたちと積極的なものは、表現された神を賛美します。こういうわけで、神の栄光化された子たちであるわたしたちは、彼の栄光の賛美となります——エペソ 1:12。